

RIKEN Innovation

Technology licensing
Start-up support
Joint research promotion
Co-creation with industry



RIKEN Innovation

株式会社理研鼎業は、

国立研究開発法人理化学研究所（理研）が推進する産業連携・イノベーション事業を牽引するため理研の100%出資により設立された会社です。

理念

私たちは、研究成果を最大化し
その社会還元を加速することにより
まだ見えぬ水平線の向こうに豊かな社会を実現させます

研究成果を社会実装に導くリーダーを目指します

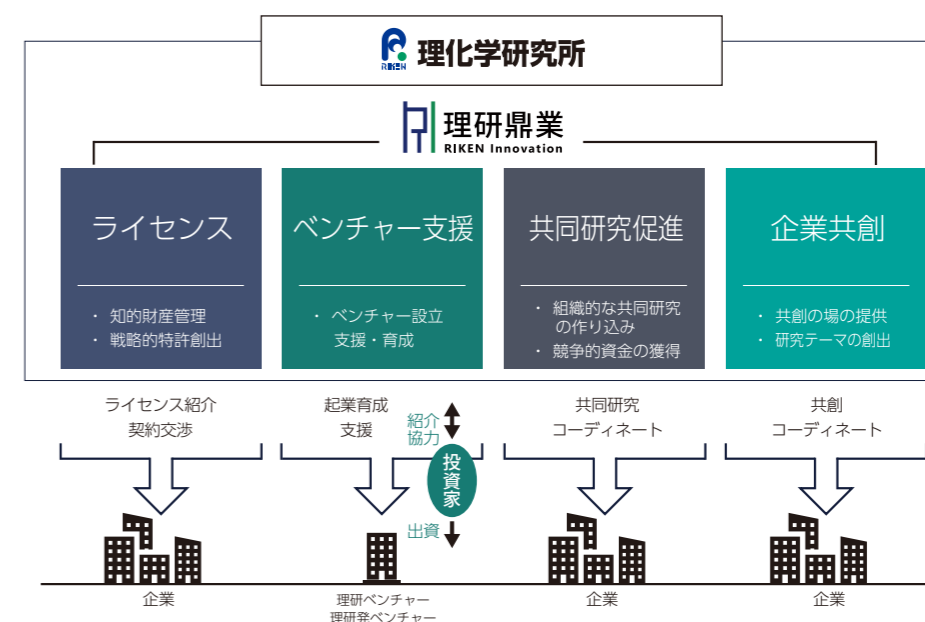
目的

- 理研の成果をいち早く社会価値に還元します
- 理研と産業界との「組織」対「組織」の連携を促進します
- 多様な収益源により新たな研究資金を確保します

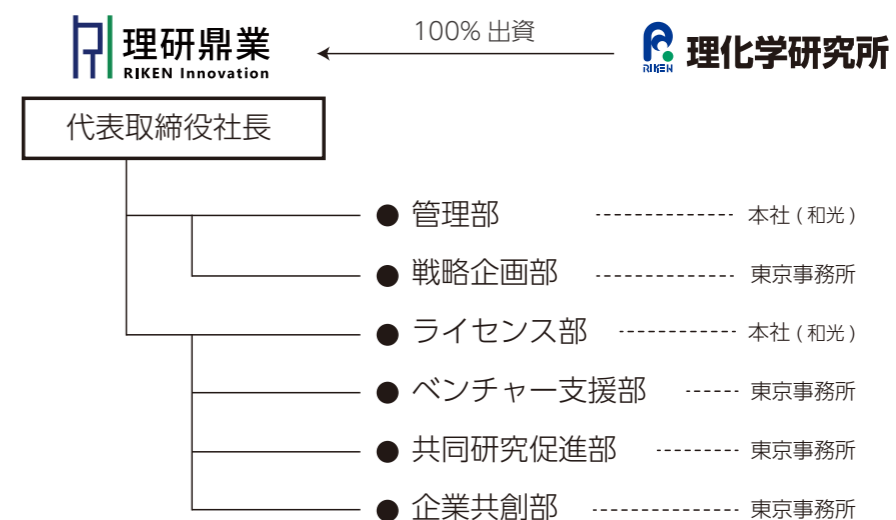


事業概要

理研の研究成果を社会価値に還元することを目的に、産業連携活動の窓口として、ライセンス、ベンチャー支援、共同研究促進、企業共創の4つの業務を推進します。



組織



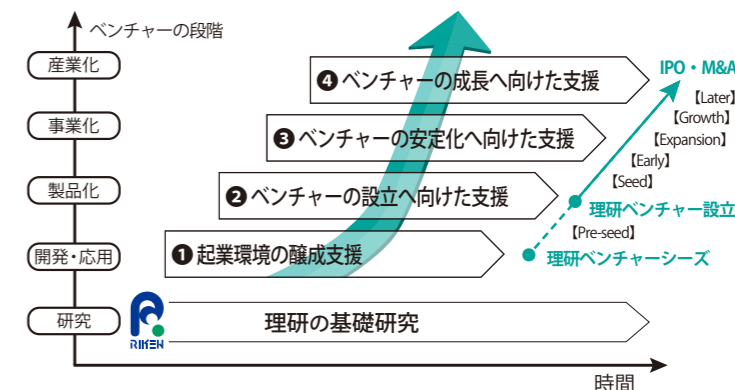
01 ライセンス Technology licensing

理研の知財の発掘や権利化、
企業への知財のライセンス活用に取り組みます。



02 ベンチャー支援 Start-up support

理研ベンチャー設立に向けたビジネスモデル、事業計画の策定、成長に必要な情報の入手、事業を開始したベンチャーと理研との共同研究や連携を支援しています。



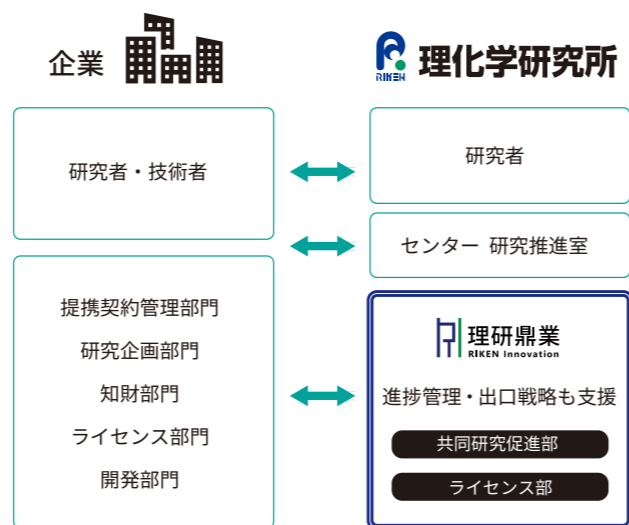
< 具体的な支援活動 >

理研の研究成果のベンチャー等社会実装へ向けた各種支援

- ▶ 理研内の社会実装環境の醸成 (社会実装セミナー開催 等)
- ▶ 公的資金等の外部資金獲得支援 (NEDO・JST・AMED 等)
- ▶ 設立したベンチャーの資金調達、共同研究、事業開発の支援

03 共同研究促進 Joint research promotion

理研と企業との共同研究テーマの発掘、折衝、成約の促進、出口を見据えたコーディネート、および政府機関からの大型競争的資金の獲得に取り組んでいます。



< 具体的な促進活動 >

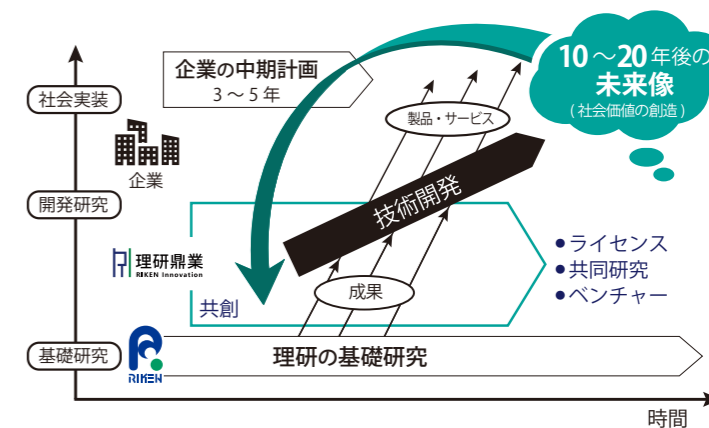
- ▶ イベント、商談会、個別面談、研究会を通じた企業ニーズと理研研究成果のマッチング
- ▶ 企業との共同研究の進捗管理や出口管理、共同研究終了後のアセスメント
- ▶ 企業ニーズと理研シーズを踏まえた競争的資金の獲得や獲得後の支援

研究成果の効率的・効率的な社会実装、
社会ニーズの研究へのフィードバック
および研究費の獲得

04 企業共創 Co-creation with industry

理研と企業との共創の場を提供します。

- ▶ 企業が描く 10～20 年後の未来像の実現に必要な研究テーマを企業と共に創出します。
- ▶ 中堅・中小企業のもつ優れた技術と理研の研究とのコラボレーションを目指します。



< 具体的な共創活動 >

企業共創で提供する3つのサービス

| 企業共創 A サービス | 企業共創 B サービス | かなえ共創サービス |
|---|--------------------------------|---|
| 対象：大企業 | 対象：大企業・中堅企業 | 対象：中堅・中小企業 |
| 企業の中長期事業目標に向け、いま必要となる研究テーマを企業と理研とで創出するサービスです。 | 企業の技術ニーズと理研の研究シーズの融合を図るサービスです。 | 研究相談、セミナー、ワークショップを通じて、中堅・中小のもつ優れた技術と理研の研究成果のコラボレーションを目指すサービスです。 |

【共創契約締結実績】

| | |
|-------------|----------|
| トヨタ自動車㈱ | 2020年4月 |
| ドイツ・バイエル社 | 2019年10月 |
| 株式会社 徳島津製作所 | 2020年6月 |
| シスメックス㈱ | 2020年1月 |
| ダイキン工業㈱ | 2020年7月 |
| カールツァイス㈱ | 2020年1月 |
| 住友化学㈱ | 2021年3月 |

【かなえ共創サービス ― 会員募集 ―】

詳細 www.innovation-riken.jp
お問合せ先 kanae@innovation-riken.jp

社長あいさつ



株式会社理研鼎業
代表取締役社長 油谷 好浩

株式会社理研鼎業は、理化学研究所（理研）の4つの産業連携機能、『ライセンス』、『ベンチャー支援』、『共同研究促進』、『企業共創』を引き継ぎ、2019年12月より事業を開始しました。各技術分野の専門コーディネーターを配置し、産業界の動向やマーケットの情報を積極的に取り込み、発展、充実させ、産業界に向けた理研窓口として尽力しております。理研の研究者が日々進めている研究について、「社会価値への還元」、「組織対組織の連携促進」を目標に掲げ、業務プロセスの最適化を見極め、前述の4つの機能を柔軟かつ横断的に連携させてまいります。

理研は、自然科学の総合研究所として幅広い分野において先導的な研究を推進しており、また専門領域を超えた分野横断的な連携研究活動も活発に行われています。昨今の第4次産業革命、あるいは Society5.0 とされる大きな社会変革期において、これらの先導的、分野横断的な研究活動は新たなイノベーションに繋がる大きな可能性を秘めております。理研鼎業はこの理研のポテンシャルを開放し、イノベーション実現に貢献するために全力で取り組んでまいります。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

社名について



“鼎（かなえ・てい）”は古代中国において3本脚の金属製の器、祭器を意味します。”鼎談”や”鼎立”などにみられるように、3という数を表す漢字としても用いられます。理研鼎業の『鼎』は、“経営・技術・社会貢献”の3つを基軸として、我が国のイノベーション創出に貢献するという意味が込められています。

会社概要



社名：株式会社理研鼎業(りけんていぎょう)

設立日：2019年9月5日

代表者：油谷 好浩

所在地：【本社】

埼玉県和光市広沢 2-1 (理化学研究所内)

【東京事務所】

東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目

三井ビルディング 19階 (COREDO 日本橋)

アクセス

📍 本社（埼玉県和光市）

〒351-0198
埼玉県和光市広沢 2-1
(理化学研究所内)



📍 東京事務所（日本橋）

〒103-0027
東京都中央区日本橋 1-4-1
日本橋一丁目
三井ビルディング 19階
(COREDO 日本橋)

